



座光寺風景

麻績神社御柱祭が4月24日(日)に行われました。曳き手の大役は、壮年団の年長者等が担当しました。無事に実施できることを祈願してお祓いを行った後、笛クラブのお囃子が鳴り響くなか、神主を先頭に里曳きが始まりました。

あいにくの雨でぬかるみ、滑りやすい石段でしたが、一歩一歩確実に曳かれて御社まで到着しました。里曳きされた後は建御柱となりますが、麻績神社の建御柱は他の御柱とは違い、御社の中に建てられる珍しい御柱です。外から見ることはできませんが、御柱は祭壇の横に建てられました。



御社に奉納される御柱

実施する事ができ、とても喜ばしい 麻績神社御柱祭

杜御柱祭を実施することができたことは、とても喜ばしいことです」と語ってくれました。

若連中 気迫の舞

3年ぶりの春祭り。コロナ禍を乗り越え、若連中気迫の舞が麻績のひろばにて披露されました。

座光寺地域の皆様には、日頃より、壮年団麻績神社若連中の活動にご理解、ご支援いただきまして、誠にありがとうございます。

座光寺に春の訪れを告げる、麻績神社春祭りが、今年は4月2日(土)特別所望日、4月3日(日)に本日の日程で3年ぶりに開催する事ができました。例年より規模を縮小し、短時間での麻績神社春祭りでしたが、若連中一丸となつて、座光寺の獅子を無事麻績神社に奉納できました。

麻績神社獅子舞の特徴である獅子曳きには、赤須翼くん(唐沢地区)・鈴木竜盛くん(唐沢地区)・北原愛土くん(恒川地区)が行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、苦渋の決断をし、中止とさせていただきます。また越後獅子は、原田沙葉さん(下羽場地区)・佐々木祥花さん(高岡地区)のお2人が、舞台校舎で優雅な舞を披露してくださりました。

今後も麻績神社春祭りが多くの皆様の心に残るよう、若連中一丸となって頑張りたいと思います。

3年ぶりの春祭り開催

麻績神社若連中代表 北原・文博

令和4年度重点目標と活動方針について

自治会活動方針

自治会長 牧野 光彰



本年度も第2次基本構想・基本計画、目指す将来像「あなたも私も暮らしやすい自然・歴史・文化・ものづくりが煌めく新舞台『麻績の里座光寺』」の実現に向けて、6つのまちづくりを基本とし、主要な施策で目標を定め、個別計画で実践してまいります。

リニア関連事業における代替地整備では、宮の前・唐沢では市道整備も完了し、住宅の新築移転も進み、共和地区でも整備が進められておりますが、今後リニア中央新幹線整備事業・国道153号北改良・座光寺上郷道路・市場桜町線・スマートインターチェンジ周辺等の道路整備・恒川官衙遺跡保存事業、そしてエス・バードの活用など、地域全体に及ぶ大型プロジェクトについて、必要に応じて地域としての意見要望等を、関係機関に働きかけるなど、整備事業に協力していきます。

また、今年度は第2次基本構想・基本計画の6年目、令和5年度よりの後期基本構想・基本計画の見直しについて、昨年度自治委員会総務文教部を中心に各施策ごと、過去5年間の進捗管理表に基づき総括を行い、見直し方法の検討を行いました。今年度は自治会の各委員会・特別委員会・団体・地区より検討委員を選出していただき、今後将来像に向けての6つのまちづくりについて、見直しの有無などの検討を進めてまいります。

また、昨年度改定された、公民館委員会を除く、自治会関係委員会の選出方法の変更により、担保された継続性を検証し、委員会ごとの事業量の軽減と、委員定数について必要に応じた見直しの検討を行いたいと思います。

昨年度は飯田市地震総合防災訓練の中止により、地域防災訓練も中止となりましたが、今年度も「2時間、2日間安全を地域の力で確保」に基づき防災訓練を実施し、防災無線のデジタル化や防災ハザードマップの更新を契機に、住民の防災意識の高揚に重点的に取り組みます。昨年度は残念ながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、夏

祭りも「コロナに負けるな、座光寺を元気にするアマビエ花火」と銘打ち、エス・バードでの花火の打ち上げのみとなってしまいました。今年度は、座光寺小学校の創立150周年というお祝いの年でもあり、住民の皆様の強い希望を受けて開催を決定。第10回までの祭りとは少し形を変え、小学校の創立150周年記念を祝い、舞台校舎も使いながら子どもを中心とした祭りを、今後夏祭り実行委員会を中心に検討してまいります。

また、座光寺小学校創立150周年については令和3年度より小学校・PTA・公民館と「座光寺小学校創立150周年記念実行委員会」を立ち上げ協力してまいりましたが、今後も4者にて祝賀に向けた話し合いを進めてまいります。

昨年開通した座光寺スマートインターチェンジについては、当初予想した通過台数を上回る利用台数があり、地域外へ流れる観光客を上段地区の土地利用計画も含め今後地域振興へ、どう繋げていくか検討を進めてまいります。昨年度末に清水エリアの整備が終了した恒川史跡公園整備事業について、ガイドンス施設の基本設計等、公園整備について教育委員会をはじめ関係各委員会・地区の関係者の

皆様と協議を重ねながら進めていきたいと思っております。今後とも地域の皆様の協力をいただきながら、自治会活動を進めてまいりたいと思っております。

「ミ」のな

きれいな町が誇りです

環境衛生委員会

委員長 富村 治郎



日本は、世界中の方々より町中が清潔との印象を得ています。一人一人の意識が常に片付け・ゴミ拾いを心掛けることにより、賞賛を得ているのは、誇りにして良いと思います。コロナ禍により、2年間活動が困難でしたが、今年度は何とかできればと思いますパワーアップして取り組みたいと思います。

重点目標として、①ゴミの排出抑制と分別②資源リサイクルの徹底③環境保全のための危険箇所の河川清掃(草刈)④環境衛生施設の視察研修を行います。皆様のご参加とご協力をよろしく願います。何かと不慣れにつき、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

なお、リニア事業により各地区の世帯数が大幅に変動することが予想され、次年度以降に向

け公平な地区割を検討したいと思っております。皆様のご意見・ご提案を各地区委員、または自治振興センターまで頂ければと思います。

子どもの安全を守ります

生活安全委員会

委員長 牧野 良



1年間、生活安全委員会の皆さんと共に頑張つていきたいと思っております。よろしく願いいたします。

重点目標として

1、交通安全意識の育成

①座光寺小学校と協働した交通安全啓発と通学路の安全
先日、小学校での「道路上の自転車安全な乗り方教室」で小学生の一生懸命な姿に感動しました。この子たちの命・安全を守る活動に力を入れていきたいと強く思いました。自転車だけでなく、通学での危険と思われる箇所の把握と対策に力を入れていきたいと思っております。

②人波作戦

国道での桃太郎旗による安全意識の啓発。生活安全パトロールによる交通安全の呼びかけ。

2、地域の防災意識の向上

いつ起こるか分からない地震

災害に対しての避難の仕方の徹底と避難所での対応に力を入れていきたいと思っています。特に避難所での水・食料の確保は大丈夫か、必要な器具は常に用意されているか、といった点(1年限りではありません)に継続して取り組んでいく体制を築きたいと思っています。

3、委員会業務の効率化

生活安全委員会の業務の多さを痛感しています。業務の効率化に取り組んでいく1年目だと思います。

地域を繋ぐ見守りと 支え合い

健康福祉委員会

委員長 原田 文子



健康福祉委員会では、年2回、地域の一人暮らしの高齢者への声かけ訪問をする活動を実施しています。

お声がけをすることにより

日々の変化や困りごとに気づき、見守りすることができま

重点事業として

1、日常的な見守り支え合い活動の充実に努めます

近隣の方への「ちよつと気にかける」を意識することで支え合いの気持ちが生まれます。

2、婚活を支援します

結婚相談員等と連携を取りながら「出会いの場」を企画・提供いたします。

3、健康寿命を延ばす取り組みを進めます

・いきいき広場の開催

座光寺地域では、5会場で開催しています。

「人と話すこと」「笑うこと」

は元気の秘訣です。1年を通して各会場、楽しい内容を企画しておりますので、お気軽にご参加していただきたいと思っています。

まだコロナ下ではありませんが、感染対策を取りながら、1年を通して、元気で安心して暮らせる地域づくりを目指して行きたいと思っています。

「ふれあい」を大切に 企画を

公民館長 片桐 善昭



公民館事業では、地域の大きな変革期かつコロナの収束が見えない中、学習と交流・地域活動が停滞しないよう「ふれあい」を大切に、実施可能な新たな事業スタイルも含めて皆でアイデアを出し工夫して、地域の皆さんが楽しんでいただけるよう企画していきます。

麻績の里振興委員会 活動計画

麻績の里振興委員会

委員長 筒井 誠逸



令和3年度は「麻績の里桜まつり」は中止となりました。ほかの各事業はほぼ実施できましたが、コロナウイルスで会合が制限されて意見交換や意思の疎通がむずかしくなりました。私たちの活動は皆が集まり、ワイワイ話し合っ、皆で行動する事がいかに大切かを再認識しました。

元善光寺の御開帳が1年遅れで行われる事となり、「ムトス飯田」の補助金も予算に入れて、パンフレットの制作と、駅から参道沿いにプラランターの花で「おもてなし事業」を行う事ができた。この事業は令和4年度にも引継がれている事業です。

また、今年度は、コロナのレベルが「5」のままでしたが「麻績の里桜まつり」規模を縮小して行う事、特に口に入るお茶席は中止して「着物と桜」の撮影会を行う事になりました。

会員さんのアイデアで、阿島傘の無料貸し出しも計画しま

した。

座光寺地区の振興と、会員相互の交流がますます活発になる今年1年にします。

水辺の広場委員会の 活動について

水辺の広場委員会

代表 大澤 義信

水辺の広場委員会の活動は、座光寺地域土地利用計画にある水辺の広場ゾーンの活用と環境保全を行っています。

水辺の自然と触れ合い、地域住民の皆さんが楽しめる憩いの場となる環境を維持しています。主な事業として

1、保全活用

地区の皆さんから寄贈して頂いた鯉のぼりを、4月下旬から5月上旬に広場へ設置します。

2、環境整備

年3回広場の草刈りとゴミ拾い。マレットゴルフ場周辺のアメリシロ駆除を年2回実施。

3、水生生物観察会

親子で楽しめる学習会と川遊びを7月に予定。

また、子どもさんの写生作品を募集し、文化祭にて展示しますのでぜひご参加ください。

コロナ感染拡大が収まらぬ昨今で有りますので、防止策を徹底して実施していきます。

本年も昨年と同じ活動ではあります地区の皆さんの各事業へ

の参加とご協力を宜しくお願いいたします。
利用の方へ。広場の美化のため、ゴミの持ち帰りにご協力をお願いいたします。

原点に立返り

麻績の里ふるさと応援倶楽部

委員長 湯沢 和行



座光寺では、多くのグループが様々な活動をしています。こうしたグループ同士が情報交換をしたり連携して活動すること、お互いの取り組みが相乗効果を生み出し、元気な座光寺づくりにつながるための仕組みに取り組んでいます。今年度も参加する団体の「皆様の声を聞き」皆様のアイデアにより」以下を具体的目標とします。

1、夢を語る会開催―各団体会員がふるさとを盛上げるため、将来を見据え多くの戦略を語り合う場を設定。

2、情報発信事業―①「麻績の里座光寺便」の充実（年3回全戸・高陵会配付）

②「座光寺自治会ホームページ」の有効活用。地域内外の多くの人が座光寺の魅力を発見できるように

（見る検索する皆様のニーズに添える）情報発信隊の活性化・ホームページ内容の改良を図る。

3、ふるさとパックスの企画・販売―地産にこだわった特産物販売事業者の設立検討

今年度も会の参加団体を始めとして地域の皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

後世に伝えたい記録と記憶

歴史に学び地域をたずねる会

会長 田口 博人



1、聞き取り活動の再開
昨年の8月に、『古老が語った我が歩み 語り継ぎたい「昭和・平成の記憶」』を発刊する事ができました。ご協力ありがとうございました。

新しい観点に立ちながら、昨年7月から聞き取りを再開しました。地域の皆さんに語り部（かたべ）のお願いに伺う事がありますがご協力をお願いします。

2、歴史史料・民俗史料の収集と整理

当会では歴史史料・民俗史料の収集と整理を行っております。歴史史料や民俗史料等の事で

困った事があれば、座光寺自治振興センターへご一報ください。ば、お伺いし拝見させていただきます。整理された歴史史料・民俗史料は麻績史料館に保存されています。

3、座光寺地域を知る歴史講演会・地域探訪

リニアの開通工事が進み、変わりゆく地形や風景の中で歴史・人の暮らし・ふるさとの様子を記憶にとどめ、未来を展望する地域探訪や学習会を行っていきたくと思っています。その際は、是非ご参加ください。

当会での聞き取りは毎月第2火曜日、史料整理は毎月第4火曜日の午前9時から12時に麻績史料館で行っています。コロナの状況が安定したら聞き取りは地域の方も一緒に聞いていただきたいと思います。

座光寺の魅力を外に発信

2000年浪漫の郷委員会

会長 牧野 光彰

◎浪漫の座光寺 案内人の活動の充実

昨年度、「浪漫の座光寺 案内人」の活動は、コロナ禍で岐阜市立岐阜西中学校約80名の体験教育旅行など2件の活動にとどまりましたが、今年度は南信州観光公社との密接な連携の下、

案内人の活動を一層充実させていきます。

そのために、地元講師による座光寺と実践研修を中心としたガイド講習会とガイド先進地との交流を進めて案内人のレベルアップを図るとともに、ガイド用グッズや座光寺を紹介するガイド資料を作成し、多くの方に座光寺の魅力を発信してまいります。

◎地域探訪の実施

住民の皆さんに座光寺の自然・歴史・文化に触れていただくための地域探訪（一本桜と史跡ウォーキング・南本城植物見学会など）を歴史に学び地域をたずねる会・麻績の里振興委員会・公民館との共同開催で引き続き、実施していきます。

◎史跡・恒川官衙遺跡の公園整備を推進

本年4月1日（金）から恒川史跡公園・清水エリアが供用開始となりましたが、本年度は、実施設計に入るガイダンス施設について、受け入れの研究を進めるほか、公園整備事業で飯田市教育委員会と協働する中で、地域の皆さんの意見・要望を反映し、飯伊を俯瞰（ふかん）する立場からの「浪漫の郷構想」の実現に向けて取り組んでいきたいと考え

ます。

◎「2000年浪漫の郷 座光寺」の魅力を外に発信

さらに、座光寺SIC開通後の新たな展開としてパノラマファーム大門・エス・バード・高岡第一号古墳・恒川官衙遺跡・石川除けなど新たな「モデルコース」の企画、パンフレットの作成や自治会ホームページ等の積極的な活用など「2000年浪漫の郷 座光寺」の魅力を内外に発信してまいります。

パノラマファーム大改造計画をスタート

パノラマファーム大門

場長 長沼

豊



◎重点活動1 昨地域人教育でOIDE長姫の生徒さんが取り組んでくれた大改造計画で高校生が企画し、壮年団OBの方々が協力して実施した「親子で楽しむパノラマファーム」のような地域の人に知ってもらえるような交流の場を計画したい。今年度は大改造計画にあるお花畑を参考にして、南天畑の上

の20アールの傾斜地にコスモスの種を蒔き、10月にコスモスの花を見ながら親子でりんご狩りとりんごを使ったお菓子作りを体験するイベントを壮年団OBの方々といっしょに考えていきたい。そしてこの場所を次の世代につなげていければと思っています。

○重点活動2 都市のりんごの木
の管理・交流の再開です。新型コロナウイルスにより2年間で中止してしまい、りんごの木の状態が心配

土地利用計画の管理と見直し 土地利用計画運営委員会

委員長 大澤 義信



土地利用計画は、座光寺の特色ある文化・歴史・景観等を守り、育むことにより、あなたも私も暮らしたい土地利用を進め、より住みよい座光寺としていくことを目指しています。先人たちが残してくれた美しい郷土を次世代に引き継いでいく基礎であり、住民の皆さんの協力があってこそ維持できます。リニア等大型事業の進展による環境の変化を踏まえ、今年度

配になっています。まず渋谷原宿ですが、表参道キャットストリートのほか7カ所の管理を6月に地元の人といっしょに行います。次に奈良市は7月に木の管理と両地区のりんごで造った座光寺大柳生シードルの完成披露を行いたいと思います。

そのほか例年通り、草刈り年4回と、渋谷リンゴパーク・南天・フジバカマの育成管理の事業を継続して行います。

から、基本構想・基本計画の見直しに合わせ、座光寺に望ましい環境に合った土地利用計画となるよう見直しを行います。次代を担う皆さんに座光寺の持つ特性（里山・文化・歴史・環境）を引き継いでいけるよう取り組んでいきます。

活動に備えて

日赤奉仕団座光寺分団

分団長 井原ゆかり

座光寺分団は19地区中、15地区の加入で活動しています。令和3年度は手探りの中、募金活動・炊き出し講習会・福祉施設の清掃等の奉仕活動を行ってきました。令和4年度の活動内容も変わりありません。今年度は、昨全年役員が一新

地域防災の要に

座光寺消防団

分団長 今井 貴浩



され困惑した事も多く、そこを整理していくことにしました。まず炊き出し備品をはじめ、分団の管理している備品の確認を行い、全班長にも分かるよう、一覧表の作成を進めています。任期2年目となり、できる限り活動記録を残し次につなげたいと思います。

1、有事の際の素早い行動とチームワーク
消防団では有事の出動に備えて毎月行っている機関点検の際、備品の点検に加え、全団員がポンプや筒先が使えるように指導を行って参ります。

2、自然災害に備えて

全国的に地震や台風、大雨による自然災害が多発しています。昨年度より水中ポンプや防災無線等を配備させていただきました。ロープワーク等水防工法についても全団員で今以上に考え、有事の出動の際には一秒でも速い対応に取り組んで参ります。今年度もコロナ禍でのスタートとなりましたが、これから地域に貢献ができるように活動をして参ります。

座光寺小学校 150周年

座光寺小学校150周年を祝う企画として思い出の写真&エピソードを大募集したところ清水地区の北村祥尚さんの自叙伝と、卒業写真を息子さんから提供していただきました。

（以下自叙伝より抜粋）

昭和12年3月、座光寺小学校を卒業。当時、新体育館の建設

と運動場の真中に川が流れていたのを塞いでの運動場拡張が進められており、校庭は土盛りありトロツコ道ありで雑然としていたが、舞台校舎の上ののしかかるように垂れた松、泰安殿、しだれ桜、公園の満天星つつじ、校舎東側の松の木列、これらを眼下に見下ろすかの様に麻績神社の杉の神木ほか大木がこんもりと神社を包み、幾多卒業生の門出を、そして将来を見守りつつ、今日も神々しく年輪の深みとともに増えている。



手前から3列目、右から4人目が北村祥尚さん

令和4年度地区長名簿

(地区)		(氏名)	
宮の前	齋藤 弘	宮崎	三村 剛
唐沢	松田 英喜	吉村	義大
共和	藤田 裕司	大堤	崎村 義次
下羽場	牧内 寛	宮崎	三村 剛
中河原	原田 章	吉村	義大
中羽場	北原 章	大堤	崎村 義次
欠野	今村 修	宮崎	三村 剛
河原	原田 健治	吉村	義大
高岡	平岩 昌雄	大堤	崎村 義次
清水	佐々木 俊一	宮崎	三村 剛
恒川	塚田 修	吉村	義大
市場通り	今村 善紀	大堤	崎村 義次
北市場	上沼 洋一	宮崎	三村 剛
上野	浅野 清	吉村	義大
上野新町	渡野 文	大堤	崎村 義次
万才	塩澤 淳	宮崎	三村 剛
宮崎	三村 剛	吉村	義大
大堤	崎村 義次	大堤	崎村 義次

多くの方々に 利用してもらいたい

清水エリアお披露目会

国史跡の恒川官衙遺跡を保存するために恒川史跡公園整備事業が進められています、その一部である清水エリアが4月から供用開始となりました。これに伴い、「清水エリアお披露目会」が、4月9日（土）に開催されました。市の関係者・地元住民など約60名が出席し、清水エリアの完成を祝いました。地域代表者あいさつとして、牧野自治会長は「このようにきれいな清水がよみがえりました。この素晴らしい公園を末永く守っていききたい。また、多くの方々に使用していただきたい」と述べました。佐藤市長は「清水エリアの完成は、事業全体の一部であり、この日を迎えることができ感無量。この清水を中心に祀りが行われたり、地域の歴史が紡がれてきたことと思う。このような大事なエリアが地域の人々に親しんでいただけ場としてオープンした。ぜひ一人でも多くの人に訪れていただいて往時をしのび、これからの事を考える、そんな場所になったらいい



いなと思っている。恒川官衙遺跡のエリアは、とても広いので、これから一つ一つ整備を進め、より大勢の方々が来ていただけるエリアにしていきたい」とあいさつしました。その後、史跡標識の除幕が、華々しく行われました。史跡標識の揮毫は座光寺地区民に公募し、29作品の中から選ばれた恒川地区、片桐喜美子さんの文字が刻まれました。清水は、年間を通して水を湛えるように整備され、エリア内は芝生が張られています。また、飯田技術専門学校の生徒の皆さんが市産木材を使った四阿あずまやを設置しています。総事業費は4700万円。

立派な一本桜を巡る 座光寺一本桜ウォーキング

座光寺一本桜ウォーキングが3月27日（日）に開催されました。令和元年度に座光寺の花として制定された「しだれ桜」や、立派な一本桜を巡り座光寺の景色を楽しもうという趣旨で、歴史に学び地域をたずねる会・2000年浪漫の郷委員会・公民館健全育成部の共催で企画され、今回が2回目の開催となりました。



子どもから年配の方まで40名の参加があり、スタート地点の麻績のひろばでは、子ども桜ガイドによる説明を聞いて、各地の一本桜を巡りました。（子ども桜ガイドは、今年も新型コロナウイルス対策

のため観光客への対面ガイドは中止しています）

今回は桜の開花時期が合わず、多くが蕾の状態でしたが、晴天の下、心地よいウォーキングとなりました。

色とりどりの鯉が 晴天に舞う

水辺の広場委員会



水辺の広場委員会では、4月24日（日）に鯉のぼり設置作業を行いました。これは、水辺の広場が子どもから大人まで楽しめる、憩いの場となることを目的として、水辺の広場に鯉のぼりを設置する事業です。約20人の委員が参加し、家庭から提供された鯉のぼりを高所作業車や脚立などを使用して設置しました。設置した日は、途中からあいにくの雨となってしまうましたが、後日確認すると、約

100匹の鯉のぼりが青空を優雅に泳いでいました。とても見ごたえのある光景でした。

設置された鯉のぼりは、5月8日（日）には片付けられ、同時に水辺の広場の草刈り、ごみ拾い作業が行われました。

センター職員の異動

4月より2名が着任しました。よろしくお願いいたします。

【転入】

地域振興担当 霞 憲治



公民館主事 塩沢 未来



【転出】

地域振興担当 今村 浩二

公民館主事 (商業観光課へ) 永田麻美子

(保健課へ)

令和3年度座光寺地域 自治会表彰

4月28日(木)に自治会表彰が行われ、5名の方々が受賞されました。

受賞された皆様には、長年にわたり座光寺地域の発展のためにご尽力いただきました。これからも、お力添えをお願いいたします。

湯澤 啓次 様

飯田市議会議員3期12年、市議会議長として1期2年の長きにわたり飯田市及び座光寺地域の発展に貢献されました。

松村 治 様

座光寺財産区議員2期8年、財産区議長として1期4年の長きにわたり座光寺財産区の保全管理に貢献されました。

北原 進 様

座光寺財産区議員2期8年、財産区副議長として1期4年の長きにわたり座光寺財産区の保全管理に貢献されました。

代田 勝 様

パノラマファーム大門の場長として7年間にわたり地域

の環境整備活動及び都市との交流活動に貢献されました。

宮澤 俊子 様

麻績の里ふるさと応援倶楽部発足以来、応援倶楽部役員として座光寺地域の発展及び女性によるグループ活動にまじめ役として貢献されました。

受賞者を代表して湯澤様からの言葉

このような賞を頂きありがとうございます。座光寺地域づくりの先駆けであり、15年前に策定された基本構想にも携わった代田さん、宮澤さんと共に受賞できるのは名誉なことです。恒川官衙遺跡関連・リニア関連など重要なプロジェクトがこの座光寺に集中しています。課題はありますが「自ら考え、自ら行動する」という理念で、明るく夢の持てる座光寺になることを心から念じております。



令和3年度 地域自治会決算

令和4年度 地域自治会予算

【収入の部】 (単位:円)

予算区分	金 額	説 明
会 費	12,211,880	個人会費、法人会費
消 防 協 力 費	1,243,340	
補 助 金	9,120,027	市県からの各種補助金
負 担 金	61,000	会議参加者負担金
繰 越 金	14,128,497	令和2年度繰越金
雑 入	128,419	桜クリアファイル、ガイド料他
合 計	36,893,163	

【収入の部】 (単位:円)

予算区分	金 額	説 明
会 費	12,375,000	個人会費、法人会費
消 防 協 力 費	1,300,000	
補 助 金	11,492,540	市県からの各種補助金
負 担 金	881,000	会議参加者負担金、他
繰 越 金	10,770,706	令和3年度繰越金
雑 入	40,754	利子、祝儀等
合 計	36,860,000	

【支出の部】 (単位:円)

予算区分	金 額	説 明
報 酬	980,000	自治委員報酬
諸 手 当	1,702,082	各種委員手当
賃 金	581,559	会計事務補助賃金、庭木手入れ
報 償 費	465,740	地区役員報酬
旅 費	115,140	地域外会議参加費費用弁償、他
交 際 費	64,000	祝儀等
需 用 費	756,031	消耗品、会議費、他
役 務 費	465,893	保険料、手数料、他
使用料・賃借料	5,500	貸金庫使用料
原 材 料 費	0	
地 域 振 興 費	5,068,635	アマビエ花火、特別委員会、他
各 委 員 会 費	5,896,000	環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館
施設整備、管理費	763,667	マレットゴルフ場、麻績会館、他
備 品 購 入 費	1,469,900	パソコン、麻績会館机・イス、他
負担金、補助金及び交付金	3,600,680	自主防災会、各区連絡会、消防団、他
積 立 金	1,500,000	公共事業基金
予 備 費	2,687,630	コミュニティ助成事業
合 計	26,122,457	

【支出の部】 (単位:円)

予算区分	金 額	説 明
報 酬	1,000,000	自治委員報酬
諸 手 当	1,745,000	各種委員手当
賃 金	1,120,000	会計事務補助賃金、庭木手入れ
報 償 費	561,500	地区役員報酬
旅 費	2,900,000	地域外会議参加費費用弁償、研修旅費他
交 際 費	350,000	祝儀等
需 用 費	1,170,000	消耗品、会議費、他
役 務 費	538,000	保険料、手数料、他
使用料・賃借料	100,000	貸金庫使用料、他
原 材 料	50,000	碎石等
地 域 振 興 費	12,332,000	夏祭り、基本構想見直し、特別委員会、他
各 委 員 会 費	5,840,000	環境衛生、生活安全、健康福祉、公民館
施設整備、管理費	1,800,000	マレットゴルフ場、麻績会館、他
備 品 購 入 費	350,000	事務機器等
負担金、補助金及び交付金	4,470,000	自主防災会、各区連絡会、消防団、他
積 立 金	0	公共事業基金
予 備 費	2,533,500	
合 計	36,860,000	

座光寺の自然シリーズ ②8 耕作放棄地

人口減少社会の中で

里山を歩いていると耕作されなくなった農地をしばしば見かける。雑草が生い茂り、数年間は耕作していないと思われる農地。座光寺ではないが、すっかり木が茂ってわずかに残った石垣から、かつては農地、または人家があったと思われるところもある。

集落から離れたところ

多くの場合、このような耕作放棄地は集落から離れた所にあるものだが、最近では近所にも目につく。それだけ進んでいる、または深刻になっている。



以前は放棄地に植林した。ここはヒノキ。近年は植林もしなくなった(2004・4・6)



平らな面はおそらく水田だった。付近の竹林が侵入(2010・9・3)



田んぼに繁ったセイタカアワダチソウ(2012・8・10)



収穫されないリンゴ(2012・12・14)

真実は座光寺のもの(伊那谷自然友の会 小林正明)

て樹木を伐採し、木株や石を掘り起こして平らにしたはず。さらに田んぼなら近隣の沢から水を引く水路が必要だった。先人の血の出るような汗水の先にできた農地。その農地をつくるのと同じような苦役や汗があつて作つた豊かな社会。基盤になった科学技術も、基をたどれば安定した食糧供給があつたこと。あらゆる文化や芸術も同じ。その社会がもたらす恩恵を享受している——先人の汗に思い至らないまま農地が山に還っていく。その姿に万感の思いを馳せることができるのは昭和の世代だけだろうか。

東京は近くなるが

効率化や生産性の経済原理の中では人の「情」は及ばないもの。目の前でその様を見たときの感慨のようなものは、長い歴史の中に消えていくのだろうか——ある意味仕方のないことなのかも知れない。でもこのような姿に気づいてほしいし、その感性は大事にしたいものだ。

座光寺はリニアがあるから、この問題は比較的目立たないが、例外ではない。それに小地域の問題でなく、もっと大きな社会問題として対応していくべき課題である。(この現象は全国的なものだが写真は座光寺のもの)

編集後記

「麻績神社にも御柱大祭があるんだあ」という声を聞く事もあるかと思いますが、諏訪大社と同じように行われるのは、誇らしい気持ちにもなります。

令和4年春祭りも縮小ながら行われた事が、座光寺が明るい方向に向かっているように感じられて気持ちも新たにしますよね。

今回の春祭りや、御柱大祭を開催できたのも、神社総代・年番・若連中の皆様のコロナ対策への尽力と、氏子の皆様のご理解によるものと思います。

そして、令和2年・3年と春祭りを開催できなかったことは、誰のせいでもなく、得体の知れない疫病によるもの。

その年の団長を始めとする若連中の皆様は、大変残念な思いをされたことと思いますが、大勢の人々の健康と安全を守っていただいた大きな功績を、感謝と共に忘れてはならないことと思います。

最後に、麻績神社へ参拝の際は、御柱探しをしてみるのも、一つの楽しみです。

(広報古橋)